業務用建物床面積の推移

平成 27 年度の業務用建物床面積は 18 億 6,892 万㎡と推計された。伸び率は前年度比 0.5%増となった。

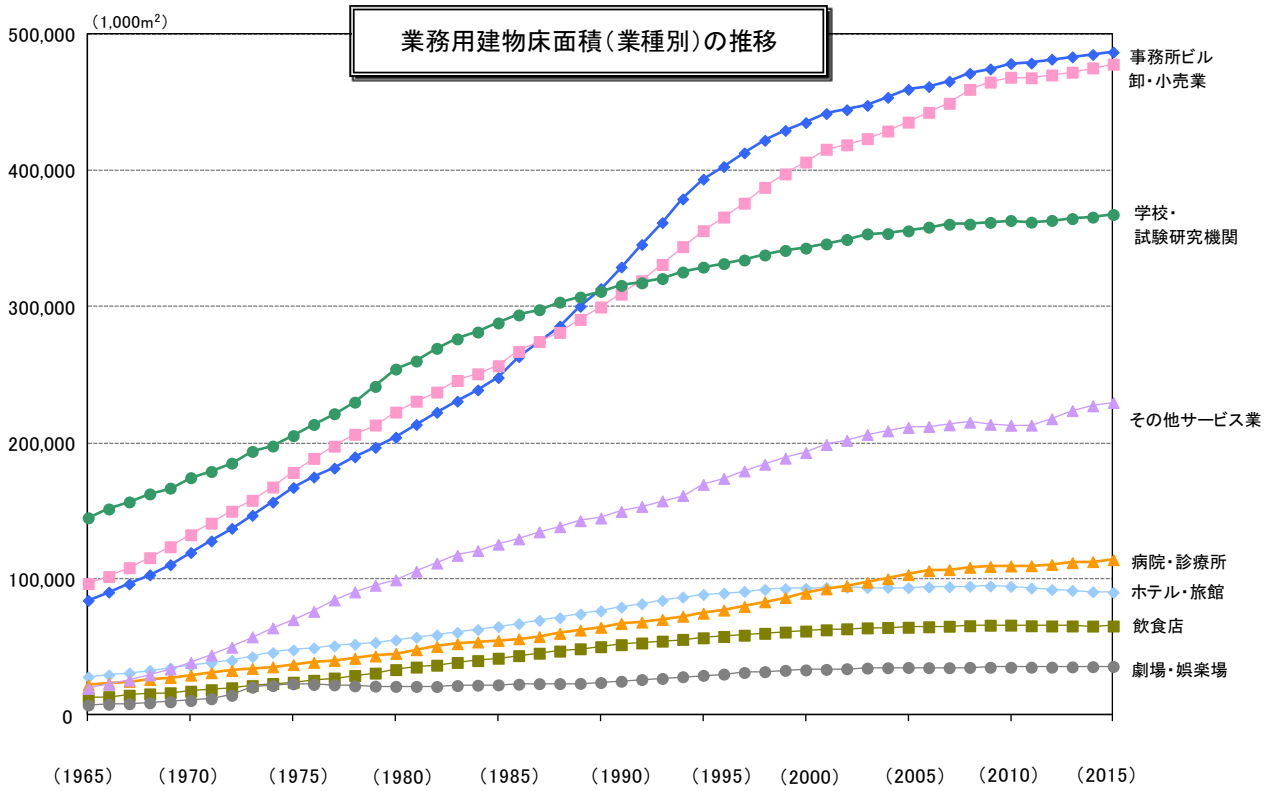
「事務所ビル」の床面積は 4 億 8,707 万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比 26.1%を占める。伸び率は前年度比 0.4%増となった。事務所ビル全体の約 8 割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積も、同 0.2%増と増加を続けた。

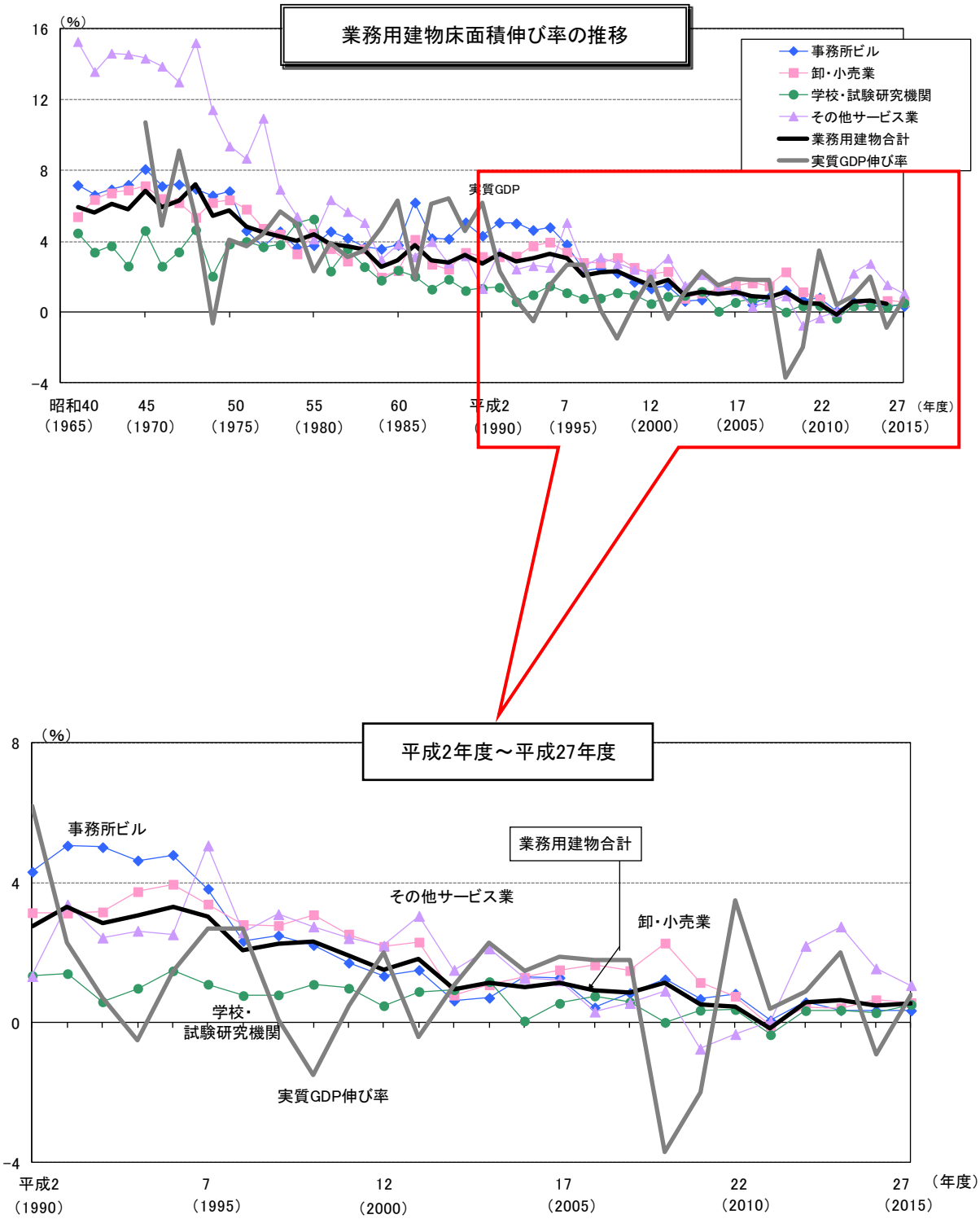
「卸・小売業」の床面積は 4 億 7,822 万㎡で、全体の 25.6%を占める。伸び率は前年度比 0.6%増となった。内訳では、卸・小売業の約 86%を占める非木造の店舗は、同 0.8%増と増加したものの、木造の併用住宅は同 1.5%減と引き続き減少している。

「学校・試験研究機関」の床面積は 3 億 6,780 万㎡で、全体の 19.7%を占める。伸び率は前年度比 0.5%増となった。内訳では、保育所・幼稚園・こども園が同 4.1%増、大学が同 1.3%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学は同 1.3%減と減少傾向が続いている。

その他の 5 業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比 1.3%増、「その他サービス業」は同 1.1%増、「劇場・娯楽場」は同 0.5%増、「飲食店」は同 0.1%増となった。一方、「ホテル・旅館」は同 0.4%減となった。

（寄田　保夫）





お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp